

公立高の統廃合にまった!

「広島市の公立高校を守る会」 結成総会に90名参加!

3月20日、広島市内で「広島市の公立高校を守る会」結成総会が開催され、会場・オンラインあわせて90名の参加がありました。

大阪で進む公立・私立高の二極分化

学習講演は、大阪私学助成をすすめる会事務局長の村井毅史さんによる「維新府政のもとで、大阪の高校はどうなっているのか」。村井氏は、大阪での授業料無償化が、「うわべだけの選挙公約達成」であり、その中で公立・私立とも二極分化し、公立つぶしと私立の競争激化が進んでいると告発。広島ですすめられようとしている「計画」の方向におかえれば、大阪



大阪の統廃合について述べる村井氏

の二の舞になるおそれもあると指摘されました。各地ではじまった

統廃合反対運動

運動交流では、「独自に署名を始め、地域で共同をすすめたい」(高陽地区)、「生徒の声を聴くシールアンケート活動を高陽東、安芸南、安西高の校門前で実施した、多くの生徒は統廃合反対だ」(新婦人)、「小規模校の良さを改めて確認したい」(高校連絡会)、「沼南高校で生徒の声を聴く取り組みを行った。福山での取り組みをすすめたい」(福山)などの報告がありました。参加者からは「統廃合の無謀さ、おかしき、ごまかしがともよくわかった。できることに参加していきたい」「学校がなくなることは地域の衰退につながる」などの感想(次頁参照)が寄せられました。

署名&学習を広げよう

今後の取り組みとして、「当面は4月中旬を目途に署名を集めること」「地域や団体等でこの



「連帯、共同して声をあげましょう」と訴える福岡氏



会場いっばいの参加者

←署名と学習討議資料は全教広島HPIに。



課題での学習会を開いていく」などが確認されました。最後に会長に就任した福岡さん(元全教広島執行委員長)から、「一部の子どものだけを大切にするのはなく、すべての子どもを大切にすることが地域、国民の利益につながる。子ども、地域、主権者国民の声を聞くべきだ」との挨拶があり、大変勇気づけられる会となりました。

あらくさ

非常勤で小学校三年生の理科と図工の授業で現場に出ています。学級担任と子ども達の事や授業の打ち合わせをしようにも休憩時間でさえ学級担任は飛び回っていつかありません。私は非常勤の立場で授業だけに打ち込めるので気持ちに余白があるのでしょうか。教科書には無い内容を授業に取り入れたい季節の変わり目ごとに二十四節気の話をしたりしています。先日、東日本大震災が起こった日は地震の起こり方や起こった場所そして、児童教職員八十四名が犠牲となった大川小学校の事などを話すと子どもたちは熱心に聞いてくれます。本来教員は子ども達の日々の様子を話したり授業準備や教材研究をしたりする時間が保障されるべきです。過密な学校現場にとっては居心地の悪い場所になります。負担が減って働きやすくなった実感を持っていないのが実態です。教員がやりがいをもって健康で働き続けられる環境になるよう声をあげ続ける必要がある。(T)

「守る会」結成総会 参加者の感想より

■やはり高校はそれぞれの地域にあるべきだと改めて思いました。たとえ少人数であっても一人ひとりを大切にすることをと願っています。統廃合ありきではなく、高校生、教職員、地域の声を丁寧に聞いてほしいです。今日の学習会で高統廃合の実態・背景がわかりました。

■県教委の進める統廃合の無謀さ、おかしさ、ごまかしがとてよくわかりました。たくさんの方が集まったことが

とても心強いです。子どもたちにもゆきとどいた教育を！できることに参加していきたい。

■大阪の教育行政に驚きましたねえ。「民間で出来ることは民間で」の流れなんですよ、「税金の無駄遣い」と決めつけて、「効率的」と言う名で私学へ！公立高校が無くなると、非正規で補充してきた教員不足の解消もできませんからねえ。入学金が高い上に値上げには驚きました。

■教育を受ける権利を守るのが国や自治体の役割。高校の統廃合は国、自治体の任務放棄です。十五の春を泣かせない！がんばりましょう。



高陽東



安芸南



安西



沼南

各高校の門前で生徒の声を聞くとりくみとシール投票の様子。下はその時に配ったカード

広島県の公立高校の統廃合について
あなたの声をきかせてください。



広島県の公立高校を守る会
連絡先：082-264-7850

春闘本番！



昼休み報告集会で発言する
中本書記長(写真左)

公務労組中国ブロック 人事院中国事務局交渉

3月13日、公務労組連絡会中国ブロック協議会は人事院中国事務局との交渉を行いました。中国5県の公務労働者の組合から15名が参加し、この夏の人事院勧告に向けて、それぞれの職場実態をもとに、大幅賃上げ、労働条件改善、人員増、公務・公共サービスの拡充等を要求しました。今回も再任用職員の賃金水準引き上げは大きな課題として取り上げられました。参加した中本書記長は「6月に給付法が改定されたが、教員の働き方の改善には全く結びつかない。長時間労働解消には定数改善による大幅増員しかない」と主張しました。交渉後には、広島県の労働組合の仲間とともに昼休み報告集会を行いました。

26春闘勝利 広島県決起集会

3月12日にアリスガーデンで26春闘勝利広島県決起集会が開催され、70名の参加で「すべての労働者の大幅賃上げをめざそう」と声をあげました。全教広島からは市教組(全教)を中心に7名が参加しました。神部県労連議長は「軍事費削って医療、福祉、教育に予算を回せの運動を大きく広げよう」と呼びかけました。各団体からのアピールで中本書記長は公立高再編問題に触れ「計画の大本に国の公共施設の延床面積削減の号令がある」と告発しました。集会終了後、「戦争やめる」「大幅賃上げをしよう」「消費税を下げろ」などとコールしながら本通り商店街を行進し、平和公園の元安橋まで沿道の市民にアピールしました。



決起集会で発言する中本書記長

教育全国署名提出集会 123万0655筆

全教広島からは5848筆

「2025年度ゆきとどいた教育を求める全国署名」の提出集会が3月6日に衆議院第一議員会館でありました。公立の紹介議員は現時点で31名です。先の衆議院選挙の結果を受けて、紹介議員の人数は大幅に後退していますが、その総選挙の際にも教育予算増は各党の公約に位置づけられていました。ここ数年、そうした状況は続いています。まだまだ不十分な点はありませんが、確実に私たちは教育行政を動かしてきました。要求での一致として、ウイングを広げていきましょう！全教広島からは5,848筆を送りました。



ゆきとどいた教育の実現へ
紹介議員に託す 123万655筆！

2025年度全教広島「奨学生」30名に支給



慎重に審査を行っていただきました。審査は5時間に及びました。

全教広島教育基金による「奨学生」制度は、「少しでも子どもたちがお金の心配なく進学できるように」との思いで2001年度からスタートした制度で、これまで760名を超える子どもたちに奨学金を支給してきました。

長引く物価高騰、格差と貧困が広がる中で、県内各中学校から応募がきました。25年度は、過去最多の96名の応募があり、生健会・新婦人・教育研究所の方に審査をお願いして、30名の方に、一名につき5万円を支給する運びとなりました。予算の関係で支給できなかつた方が多くいたことは残念でした。

は、「物価高騰だが、親が非正規で収入増が見込めない」、「DV・虐待により離婚、別居」、「親に持病があり働けない」などの訴えがありました。審査をしていただいた3名の方からは、「年々、保護者の経済状態の深刻さが増している」、「30名で区切らなければならぬのがつらい。できればみんなに支給してあげたい」、「担任が生徒の状況をよく把握していて、ていねいな記述が多かった」などの感想が語られました。

【出願理由より】

■現在、生活保護を受けています。母親である私自身、精神疾患があり、過去に入院歴もあります。体調のいい時はタイミー等の日雇いバイトを入れて何とか生活していますが、この物価高と食べ盛りの男の子を抱えているため、貯金する余裕など全くなく、頭を抱えています。

■昨年4月に両親が離婚し、母と同居していま

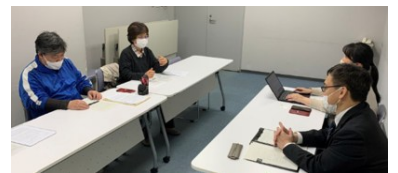
す。今年一月に父が精神疾患で入院してしまい、養育費がもらえなくなりました。私は高校進学、姉は大学進学と、これからお金がかかるので、奨学生を出願しました。(生徒本人の記述)

【奨学金支給後の喜びの声も届いています】

■全教広島奨学生という制度を知った時は、わらを掴む思いで応募致しました。給付の決定ありがとうございました。生活に困窮している家庭にとって、こういった活動はとてもありがたいと、感謝してもしきれません。全教広島の素晴らしい活動にお礼申し上げます。

■奨学金の給付、本当にありがとうございます。高校では、学業も部活動も全力で頑張ろうと思っています。とてもすばらしいこの制度が、今後も続くといいなと思います。

**奨学金カンパ
随時受付中!**



懇談に臨む四海支部長ら(写真左)

佐伯支部 廿日市市教委と懇談 校長指導・個別対応を

3月9日、廿日市役所で、佐伯支部が廿日市市教委と懇談を実施しました。佐伯支部からは四海支部長と渉行委員、本部からも中本書記長が参加しました。廿日市市教委は学校教育課長と管理主事が

対応しました。四海支部長は、管理職によって教職員への配慮や学校運営の姿勢に差がありすぎるとして、一定の基準の指導と、場合によっては個別対応もしてほしいと訴えました。学校教育課長は、「組合からの声をうけて、踏み込んだ把握をしていきたい。個別事案についても対応する」と回答しました。その他にも、生徒指導主事は担任を持たせずフリーで動けるようにしてほしい。臨採で初めて現場に出る人にも研修を。など支部の執行委員会などで出された組合員の要望を伝えました。

SSRRの拡充求め 署名提出・懇談

「親の会」が呉市教委と

3月19日、「呉・不登校を考える親の会」は、呉市教育委員会に『不登校の児童生徒が安心して学べる環境を求めると要望書』と署名202筆を提出しました。要望に関わる懇談は予定の時間を超えて1時間に及びました。「会」からは、親の会代表を務める胡谷執行委員を含む3名が参加。市教委からは学校安全課長ら2名が対応しました。

懇談では、「会」から十分に機能していないSSRRの

現状、SSRRがない学校での子どもや保護者の苦勞、SSRRの周知に関わる問題点等について訴えました。市教委は「個別の実態は市教委には伝わってこない。具体的な声を、市教委に届けてほしい」と等と応じました。参加した保護者は「勇気は要りますが、学校を指導する教育委員会に声を届けていくことで、改善が図られる道があることが分りました」と感想を語りました。



署名を提出する胡谷執行委員

プリンスホテル豪華ランチツアー

共済加入者・紹介者を抽選で18名ご招待

2月21日、プリンスホテルで豪華ランチツアーを18名(うち未組10名)の参加で行いました。これは、昨年夏から今年2月までの「夏だけよくんキャンペーン」と「キットいいことあるよキャンペーン」期間中に全教共済の加入者とその紹介者の中から抽選でご招待したものです。広島、廿日市、東広島からの参加がありました。



青空をバックに食後に記念撮影

ホッと一息できる
せいたくな時間



みんなで楽しく共済クイズ

おわりのあいさつで、秦書記次長は、「この間、休暇制度などが一定前進しているのは、組合の運動があつてこそのもです。しかし、最近、管理職のパワハラがまた

組合に関心もち
ともに声をあげる
仲間に

りました。おいしいコース料理にも舌鼓。自然と会話も弾みました。しばらくテーブルごとで食事と会話を楽しんでいただいた後、全体で自己紹介。また、共済クイズやじゃんけん大会(景品あり)も楽しみました。年度末も近づき、成績処理などで忙しい日々ですが、ホッと一息できるzeitakunな時間を参加者で共有することができました。

キャンペーンに参加して
たのしく仲間ふやしを!

いくつかの職場で起きているという声を聞きます。その改善を、学校を超えて、教育委員会や文科省に求められるのが組合です。これをきっかけに、組合に関心をもっていただき、ぜひ仲間になつてほしい」と語りました。

【参加者の感想より】
■とっても美しい景色と普段では食べられない見た目も味もおいしい料理を体験でき、ありがとうございました。ちゃっかりクイズ景品もいただきました。自動車保険も考え中なのでまた見積りお願いしようと思えます。

豪華な食事と風景を楽しませていただきました。ありがとうございました。若い人たちがたくさん来られていて将来が楽しみだと思えました。どんどん共済加入してもらえたらいいですね。

全教共済『春一番キャンペーン』

加入者・紹介者に

お菓子詰め合わせ
プレゼント!



「全教広島」組合加入者と紹介者! 「全教共済」全教自動車保険の加入者と紹介者の方にお菓子詰め合わせ(何が届くかはヒ・ミ・ツ)をプレゼントします。

2026年6月30日まで!

みんなでもらっちゃお!

抽選で期間中の加入者・紹介者 30 名の方に

カーブ観戦ツアーにご招待!!
(7/31(金)中日戦ナイター)



全教広島共済会 TEL:082-264-7851 FAX:082-261-1912



子どもたち

クラスの成長を
見通す学習会

どう出会う?

第44回広島市生活指導研究協議会
学級びらき講座

zoom
併用

初任者
歓迎

参加費
無料

2026年
日時:4月4日(土)

14:00~16:00
(13:30受付)

会場:二葉公民館6階
研修室1A1B

申し込み
matui-f@hicat.ne.jp

①お名前②所属③現地参加・zoom参加をご記入の上、送ってください。
こちらのQRコードからもどうぞ!



職場の同僚を誘って参加を!



主催:広島市生活指導研究協議会 共催:広島市教職員組合(全教)
お問い合わせ先:090-2869-9412(松井)

*ショートメールでも受け付けております。